

XPSWMM 新機能

この文書では、XPSWMM の新機能をご紹介します。

実装された新機能 2019.1.2

XP2D Extreme の拡張

SX 1D / 2D コネクションが開水路リンクに使用されても、シミュレーションが停止しなくなりました。

この状況は、現在正しくサポートされており、エラーは XP2D Classic でのみ発生します。

凹ブレークラインと凸ブレークラインは、XP2D Extreme Analysis にて 2D ドメインを正しく変更するようになりました。

実装された新機能 2019.1.1

XPSWMM 2D エンジンの更新

Tuflow 2018-03-AE engine build が XPSWMM 2019.1.1 に実装され、以前のバージョンで発生していた多くの問題が修正されました。

Percent Impervious フィールドが Landuse Properties に移動

2D 土地利用ダイアログの Percent Impervious (%) フィールドが、ダイアログの Infiltration 内部から 2D Landuses Properties 部分に移動しました。この値は、土地利用に書き込まれるようになりました。

2D Landuse: new (Material ID: 2) X

Data

Description

Landuse Properties

Mannings Roughness

Constant

Variable

Rainfall Abstraction

Initial Loss

Continuing loss

Percent Impervious (%):

Infiltration

Soil Type:

Hazard Debris Factor

Depth	Debris Factor
-------	---------------

Velocity Depth Cutoff:

LA Hydrology 法に関する警告メッセージが追加に

[LA Hydrology](#) 法を使用している際に流達時間が5分未満になると、警告メッセージが表示されるようになりました。